

常盤中学校コミュニティスクールだより

No. 2

令和6年度の第2回学校運営協議会が、10月15日(火) 12時15分から常盤中学校の第1会議室で行われました。第2回は、生徒会本部役員の生徒も加わり、「あいさつについて～コミュニケーション力の育成～」をテーマに、学校運営協議会の委員の方々と議論を深めました。



〈第2回学校運営協議会 参加者〉

【学校運営協議会委員】

栗原 勝義 会長
佐藤 好子 副会長
志水 正 委員
柴崎 八重 委員
佐藤 マミ 委員
財部 幸樹 委員
新船 孝子 委員
大庭 裕信 委員
作間 由美子 委員
山本 夕紀 委員
輿石 純美 委員
玉崎 芳行 委員
藤田 雅彦 委員

【常盤中学校】

古川 明子 教頭
鳥居 孝輔 教務主任
石塚 健太 教諭
木津谷 あみ 教諭
今野 莉緒 教諭
和田 佑菜 生徒会会長
小林 蓮大 生徒会副会長
平 聡太 生徒会副会長
加藤 優里 生徒会書記
久保 奈那実 生徒会書記
豊田 琉喜 生徒会書記
中島 若葉 生徒会役員
市村 葵 生徒会役員



〈学校運営協議会の様子〉

はじめに、授業参観をしながら、体育館の空調設備の設置や活用状況、教室のICT環境の整備状況やICTを活用した授業実践、生徒の学校生活状況について、説明しました。

給食試食会からは、生徒会担当の先生や生徒会本部役員が参加して、委員の方と一緒に給食を食べました。給食試食にあたり、献立作成の意図や食材、給食指導及び食育の取組、さいたま市の学校給食の取組について、説明しました。おいしい給食を食べながら、委員の方と教員・生徒が交流する機会となりました。

熟議の時間では、まず、生徒会本部役員から常盤中学校や生徒会で取り組んできた「あいさつ」や「コミュニケーション力の向上」について、取り組んでいる内容やこれまでの取組の成果や課題について発表しました。

生徒会長 和田さんより

【取組内容について】

あいさつの取組として、毎日のあいさつ運動、小・中学校合同のあいさつ運動（中学生→小学校・小学生→中学校）、中央委員会（生徒会と各委員会の委員長）による合同あいさつ運動を実施したことの説明がありました。

【成果や課題について】

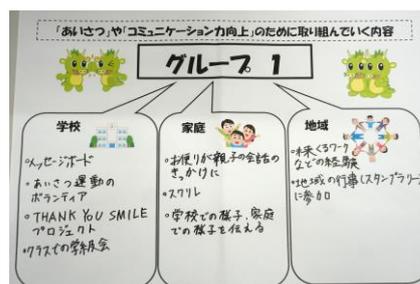
合同あいさつ運動は、あいさつをする人数を増やしたことで、顔見知りが増え、いつもよりあいさつを返してくれる人が増えたことや、顔見知りが増えることで、あいさつを返してくれる声も大きくなったことを成果として説明しました。一方で、合同あいさつ運動が終わってしばらくすると、元の状態に戻ってしまったことから、限定的な効果にとどまってしまったことを課題として挙げてくれました。

次に、本年度の熟議課題「あいさつについて～コミュニケーション力の育成～」をテーマに「今年度、『あいさつ』や『コミュニケーション力向上』のために取り組んでいく内容」について、グループごとに熟議した内容について、発表しました。

〈各グループの意見〉

グループ1		
学校	→メッセージボードの活用（高校の文化祭で実施、対話のきっかけづくりに有効）	
家庭	→学校からのおたよりを契機とした会話の充実（学校家庭連絡アプリのスクリーン導入を活用）	
地域	→未来くるワーク（職場体験活動）中にあいさつが充実（地域の関わりを増やしていく）	
グループ2 あいさつができる・できないの差は、地域や家庭での習慣にもある		
学校	→あいさつ、プラスもう一言でコミュニケーションアップ	
家庭	→家であいさつやコミュニケーションをとる習慣づくり	
地域	→イベントで人と人がつながる機会の提供、その広報の充実	
グループ3 学校・家庭・地域は、つながっており、学校でのあいさつが活性化すると、波及する		
学校	→あいさつ運動の継続。小・中連携に加えて中学校どうしの交流によるあいさつの輪の拡大	
家庭	→学校での取組をいかした、家庭でのあいさつをきっかけとした関わりづくり	
地域	→交通安全指導の際のあいさつの推進、お祭りやイベントなどの参加による多様な経験を契機としたコミュニケーションの充実	
グループ4		
学校	→あいさつ運動をすることで顔見知りが増え、安心感が高まることを確認。あいさつ側の人数を増やす取組。ポスターの掲示	
家庭	→あいさつする側の体験、運営の手伝い	
地域	→顔見知りを増やす取組（イベントやお祭り）を通じたコミュニケーションの機会の創出	
グループ5		
学校	→継続的なあいさつ運動の取組、あいさつする側の体験、安心感を増やす取組	
家庭	→「いってらっしゃい」「おかえり」のあいさつにプラスして、コミュニケーションアップ	
地域	→まずはあいさつでコミュニケーションを図り、顔見知りを増やす取組	

最後に、生徒会副会長の平さんから、地域との連携を密にして、住みやすい、よりよい地域づくりに貢献していくことや、あいさつやコミュニケーションを通して、よりよい学校づくりを推進していく決意が述べられました。



〈学校運営についての報告〉

玉崎校長から、学校運営についての報告を行いました。最上級生である3年生の頑張りや、後輩たちの刺激になり、学校全体の生活の向上や学校行事の充実につながっていること、先輩の頑張りや体験した後輩たちが、さらに頑張るという良い循環が生まれていること、全国学力・学習状況調査の結果から、学力のみならず、教職員と生徒の関わりや働きかけが信頼関係の構築につながっていること、PTAと連絡を取りながら広報の電子化を進めていることについて、報告し、今後も家庭との連携や地域との関わりを大切にしながら、組織的な学校運営をしていくことを述べました。

〈学校運営についての報告への質問及び意見の申出〉

学校避難所運営訓練について、生徒が参加するのか質問をいただき、学校職員・市役所職員・地域の自治会の方により実施する旨の説明を行いました。また、地域のイベントで部活動等の活動成果の発表をしてほしいとのご意見を承りました。

〈第2回学校運営協議会のまとめ〉

佐藤副会長から、授業参観では、生徒の様子や施設の確認ができ、給食試食会では、生徒が普段食べている給食を食べ、給食指導や食育の取組を知ることができたこと、熟議では、生徒たちが一つ一つのことにとり組んでいることが分かったこと、職場体験活動やイベントの参加などの地域との関わりから顔見知りを増やし、あいさつやコミュニケーションの向上、防犯にもつながることを改めて認識できたとの話をいただきました。委員の皆様、ありがとうございました。